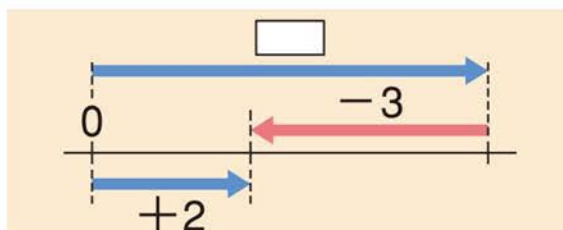


## 2 ▶ 減法



下の図をもとにして、次のたし算の□にあてはまる数をいみましょう。

$$\square + (-3) = +2$$

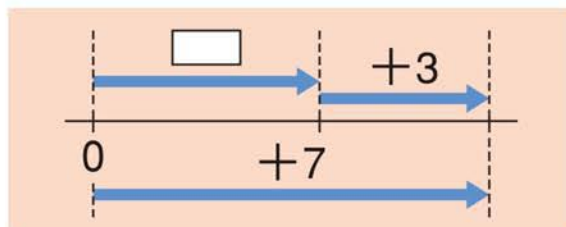


正の数をひく計算を、加法をもとに考えよう。

ひき算  $(+7) - (+3) = \square$

は、たし算  $\square + (+3) = +7$

の□にあてはまる数を求める計算である。

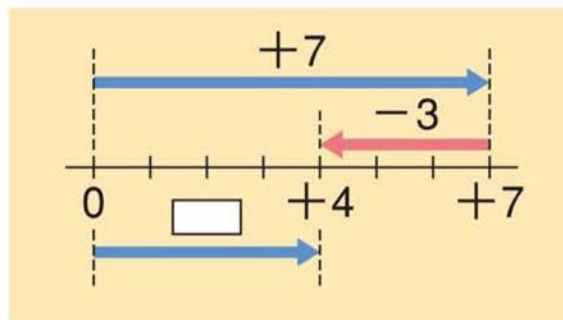


25-1

また，下の図からわかるように，□にあてはまる数は，次のたし算の結果に等しい。

$$(+7) + (-3) = \square$$

$$\begin{aligned} \text{よって } (+7) - (+3) &= (+7) + (-3) \\ &= +4 \end{aligned}$$



このように，ひき算は，たし算になおして計算することができる。

ひき算のことを <sup>げんぼう</sup>減法 という。減法の結果が差である。

「+3をひくこと」と「-3をたすこと」は  
同じことなんだね。



25-2